

令和6年度 第2回進路指導研修会 実施報告書

1. 研修目的

さまざまなことが大きく変化している社会情勢のなかで、これから目指す進路指導の在り方について研修し、各校の進路指導・キャリア指導に活かす機会とする。

2. 日 時 令和6年11月1日（金） 15:00～16:10

3. 会 場 静岡県私学会館 5階大会議室
静岡市葵区追手町9-26 電話：054-254-8208

4. 対 象 各高校の進路指導主事またはそれに準ずる教職員

5. 日 程

14:30 ～ 受付

15:00 ～ 開会・部会長挨拶

講演

演題 「時代の変化とともに進むこれからの進路指導」

講師 代々木ゼミナール大阪南校 進学相談室

主幹研究員 山根 正義様

16:00 ～ 質疑応答

16:10 閉会

6. 講演内容

1. 入試概況

令和7年度入試では、志願者減少数の大きい大学・増加大学から、受験生が志望校に何を求めているのかが見える。関西学院大学の学内併願の受験料減額や、東洋大学の併願可の学校推薦型選抜の開始など、志願者が増加している大学では、志願者や保護者にとって目に見えるメリットが感じられる入試方法を実施している。いまや受験は年内・前期がシーズンとなり、特に年内入試での入学決定者数は年々増加している。そのような状況で、女子が将来就きたい仕事と関連しているか否かを重視しているのに対し、男子は合格できそうかどうかを重視して大学選択をしている、というデータがある。男子生徒へのより丁寧な進路指導の充実が求められる。とともに、早いタイミングでの受験を志望する生徒数の増加が予想させるからこそ、これからの進路指導は低学年からの丁寧なキャリア教育が、より重要となっている。

2. 大学・学部の変容

昨今の世界を取り巻く情勢の変化とともに、2025年度 学部・学科等の新設・改組は、女子大学を中心に積極的な動きがみられる。大学の機能強化の方向性として、成長分野への大学再編・統合・拡充促進、文理横断教育の推進、理工系・農学系の女性活躍の推進が挙げられる。

3. 令和7年度共通テスト

令和7年度共通テストでは、新科目の設置や国語・数学②の試験範囲と試験時間の拡大といった大きな変化をむかえる。概況としては現役生中心の受験であること、「情報Ⅰ」を利用しないという選択肢が公立大学においては可能なこと、後期試験は志願倍率の高さに恐れず、最後まで受験を後押しすることが挙げられた。国公立大学は前期か総合型・学校推薦型かの受験状況は、エリアによって大きく異なるので、注意する必要がある。

【アンケート結果：30名回答】

1. 今回の研修会に参加して、どのように感じましたか。

とても参考になった	9名
参考になった	20名
物足りない	1名
別の内容が良い	0名

具体的にはどのようなところが、参考になった又は物足りないと感じましたか？

【良かった点】

- ・多角的な視点からの受験分析。(13名)
- ・総合型・推薦型入試の動向について。(4名)
- ・新入試制度だけでなく、今後の受験傾向予想を聞くことができた。(3名)
- ・入試全体の流れの把握や個別の大学の入試情報。(2名)
- ・国公立大学の後期試験に関する情報提供(2名)
- ・情報・データサイエンスの拡充が具体的に参考になった。
- ・全体的にバランスよく説明していただけたこと。
- ・地元国公立大に関するデータを見られたこと。
- ・総合型選抜の倍率が前期と変わらないことなど、数字で比較できたこと。

【改善点・提案など】

- ・共通テストについて、情報がより欲しかった。
- ・総合型選抜に対応するための取り組みに関する情報提供が欲しかった。

2. 今後、どのような研修内容を希望しますか。

- ・総合型・学校推薦型選抜の具体的対策と指導方法。(低学年次からの指導・面接指導・プレゼン指導・小論文指導・志望理由書指導)(8名)
- ・今回のような大学受験に関する研修。(3名)
- ・他校視察。(2名)
- ・総合型・学校推薦型選抜を含めた今後の入試展望について。(2名)
- ・進路指導の先進校事例発表。
- ・新しい取り組みを実施している大学・専門学校・専門職大学の視察。
- ・探究活動を受験に活用している高校の事例紹介または視察。
- ・静岡県の生徒が他県の大学(特に愛知・東京)で勝ち抜くために必要なことに関する情報提供
- ・文理融合やSTEAM教育の実例等、新学習指導要領のもとでどのように両立させているのかに関する情報提供。

3. 感想・ご意見があればお書きください。

- ・校内で情報を共有したい。(2名)
- ・小論文指導を授業カリキュラムに取り入れるには、どうしたらいいか？
- ・進路指導をしていくうえで、情報を常にアップデートしていきたい。
- ・情報として、とても参考になった。
- ・自身のスキルアップを図っていきたい。

- ・11/1は大学の学校推薦型選抜出願開始日なので、別日に開催してほしかった。(2名)
- ・「進路指導」ではなく「進学指導」に偏った内容だった。
- ・配布資料はPDFで事前に配布してほしい。
- ・講演時間をもっと長くしてほしい。